

「花だん作りは心作り」

これは、ぼくの学校のFBCスローガンだ。ぼくは、3年間、環境整美委員会をやってきた。そして、今は委員長になった。その3年間には、必ずFBCがあった。

4年生のころ、ぼくの学校で初めてFBCに取り組んだ。初めての委員会で、初めてFBCに取り組んだのだ。初めてのFBCで東海ラジオ賞を取った。うれしかった。

5年生でも、環境整美委員会に入ってFBCをやった。今までは、人気のない委員会だったが、FBCのおかげで人気のある委員会になった。みんなに分かってもらえたみたいで、うれしかった。この年は、前の年より上の賞を取り、花だんの設計図コンテストで2位を取った。

ついに、6年生になった。ぼくの今までの願いだった委員長になれた。だが、それは今までの活動よりもっとつらくなるということ。設計図はいくつかに案をしぼり、6年生の委員会メンバーと話し合った。5年生のころに作った肥料を花だんにみんなと協力して入れた。夏休みも、雑草が生えていたらむしった。暑くて、とてもつらかった。何か賞が取れるか分からなくても、取れなくても、べつにいいと思う。がんばってやるからこそ、達成感はあるし、その花だんがもっときれいに見えるだろう。

ぼくは3年間、FBCといっしょにいた。中学生になって、FBCがなくても、花だん作りでできあがった心は変わらないと思う。それは、たとえ賞が取れなくとも、それ以上のものを見たり取れたりできると思える心だった。たぶん、FBCの花だん作りで作られた心は人それぞれだと思う。だけど、花だん作りという一つの目標に向かえば、一つになれると思う。スローガンである、「花だん作りは心作り」は本当で、確かにぼくの心を作ってくれた。